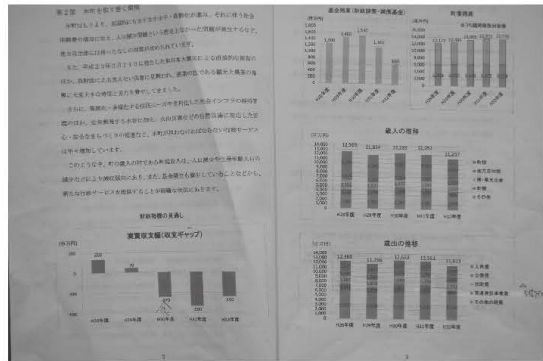




好評のグリーンハイツ田中リビナス



実現を望む行財政改革推進プラン2016

室井高男

どうする？ 行財政改革

町 基本的な取り組みを継続

問 事務効率の向上、経費削減策は。

企画財政課長 組織の見直しや民間活力の活用を継続し、歳入と歳出のさらなる適正化を推進したいと考える。

問 職員数の見直しをどのように考えているのか。

企画財政課長 平成32年度の目標数値は10人削減の予定である。

問 効果や実績の伴わない部門の整理等、今後の具体的な計画は。

企画財政課長 公の施設の管理運営を民間委託や指定管理を導入して採算性やサービスの向上を図り運営状況等の検証を行い整理できるものがあるか検討する。

問 町保有の未利用資産の整理や売却の考えは。

総務課長 検討委員会を設置して個別ごとの利活用を検討している。利活用計画がない資産については民間への売却や貸付等を考える。

問 伐採期を迎えた町有林の売却を加速化する考えは。

総務課長 価格や需要が高まったときは検討する。

林業振興と住宅産業推進は

問 林業従事者・後継者の育成をどのように考えているか。

農林振興課長 委託型林業の現状を把握して森林組合等と連携してどのような方策がとれるか検討する。

問 バイオマス需要に対応して広域的な行政で事業を推進する考えはないか。

農林振興課長 八溝山地域定住自立圏の圏域レベルで連携を模

町 人気の八溝材を推進、活用

問 多機能な森林活用で森林公園開設の構想はないか。

農林振興課長 当面はソフト事業にて対応しながらグリーンツーリズムの中で考える。

問 グリーンハイツ田中の住宅建築にあたっては地元の建築関連の経済的効果がある。今後の取り組みは。

ふるさと定住課長 平成29年度

も2棟の建築を予定している。

問 公有地を利用して民間資金を活用した官民一体型の新たな住宅産業の推進ができないか。

ふるさと定住課長 今後考えていかなければならず公有施設の活用対策や定住促進の面からも協力していく。